令和６年２月３日（土）　読売新聞（朝刊）千葉版

入院中の子 動物園気分

千葉市動物公園　オンラインで中継

入院中の子どもたちに動物園へ遊びに行った気分を味わってもらおうと、千葉市動物公園（千葉市若葉区）は、同園と同市立海浜病院（同市美浜区）をオンラインで結び、飼育員が園内を案内するイベントを開いた。

同園はこれまでも市内の小学校に出向き、動物のフンやえさ、毛皮などを使いながら生態について学んでもらう取り組みを行ってきた。イベントはその一環で、入院中で外出の難しい子どもたちにも動物に関心を持ってもらおうと、同園が同病院に提案して実現。同病院の小児病棟に入院する6～7歳の5人が参加した。

同園の飼育員、堀泰洋さん(40)がカメラを持って園内を巡り、マレーバク、キリン、ゾウ、チーターを紹介。病院のテレビモニターに、動物たちがエサを食べる様子や、カメラに顔を近づける姿が映し出された。子どもたちは「次は何だろう」「かわいい」と感想を口にしたり、「1日どのくらいのエサを食べるの？」「ゾウはお風呂に入るの？」などと質問したりして楽しんでいた。

参加した小学1年の女児(7)は「いろいろな動物を見て、動物園に行った気持ちになれて楽しかった」と笑顔で話した。堀さんは「動物を好きになってもらって、退院したらぜひ遊びに来てほしい」と語った。

動物園の様子が病院のテレビモニターに映し出された（千葉市美浜区の市立海浜病院で）